

## ご挨拶

このたび、2011年1月に日本中医学会の学術誌『日本中医学会雑誌』を発刊する運びとなりましたので、ここに謹んでお知らせいたします。本学術誌は、WEB版として年4回発行する予定ですが、WEB版の特徴を生かし、パワーポイントや動画を用いて視覚的にも理解しやすいように工夫しています。創刊号では、2010年8月29日に開催された日本中医学会設立記念シンポジウムの特集号として、特別講演やシンポジウムの講演内容について掲載いたします。

本学術誌は、中医学の専門家だけでなく初心者の方々にも楽しみながら勉強していただけるように、いくつかの連載シリーズを掲載していきます。まず、本学会の会長である平馬直樹先生に、「基礎理論と方剤を結ぶ入門講座」を執筆していただきます。平馬先生は日本を代表する中医学の湯液治療の専門家であり、本シリーズでは、平馬先生の豊富な知識と臨床経験を余すことなく伝えていきたいと思っております。ついで、本学会の評議員である北川毅先生に、「中医美容入門」を執筆していただきます。北川先生は、日本の中医美容のパイオニアであり、中医学界だけでなく美容界にも大きなインパクトを与えてこられました。これから中医美容を始めようという方にとっては格好のテキストになると確信しています。また、柴山周乃先生には、現代中国の中医臨床現場からレポートしていただきます。柴山先生は天津中医薬大学を卒業後、中国の中医師免許を取得され、現在、天津中医薬大学で中医として勤務されています。現代中国の生の声が聞こえてくるような臨場感あふれるレポートになるでしょう。そして最後に、拙著『なぜ中国医学は難病に効くのか？ 脳神経外科医が見た不思議な効果』を連載します。本書は2004年にPHP研究所より発刊しましたが、まもなくして絶版となったものです。その後も問い合わせが相次いでおり、今回、復刻版として掲載することにしました。お楽しみいただければ幸いです。

それでは、日本中医学会の会員の皆様のますますのご発展をお祈りしてご挨拶に代えさせていただきます。

2011年1月  
日本中医学会雑誌 編集長  
酒谷 薫